

ごあいさつ



理事長 東原民範

平素より格別なご支援とご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。

当金庫は、昨年11月に創立70周年を迎えることができました。これもひとえに、当金庫を支え育ててくれた地域の皆さまの永年にわたるご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

本年も、地域の皆さまに当金庫についてより一層のご理解をいただき、安心してお取引いただけますよう、「からしんディスクロージャー誌2019」を作成いたしました。当金庫の経営方針や2018年度の事業の概況、業務の内容、地域への貢献活動などについてご報告させていただきますので、ご参考にしていただければ幸いに存じます。

さて、2018年度を振り返りますと、国内経済は大企業を中心に、金融政策の効果に加え米国の堅調な景気に支えられ緩やかな回復が続いていましたが、米中貿易摩擦の激化から景気の先行き懸念が見られます。地域経済の担い手である中小企業においては、水面下での足踏み状態に改善の兆しが見られるものの、経営者の高齢化や後継者問題、さらには人手不足が深刻化するなど多くの経営課題を抱え、未だに本格的な回復には至っていません。

当金庫の営業地域におきましても、人口減少や少子高齢化による地域経済の疲弊など様々な課題に直面しています。このような環境変化に対応しつつ、地域経済を活性化させ、地域社会を持続可能なものとしていくため、当金庫はこれまで以上に地域との連携を深め、地域のお客さまのニーズに沿ったサービスを提供しています。また、栃木県中小企業診断士会による経営相談会の開催やビジネスマッチングを目的とした展示・商談会の共催など、産学官連携を活用して経営支援に取り組みました。

2019年度は経営3か年計画『共創による強固な経営基盤の確立に向けて』の中間年度であり、「地域支援力・営業力の強化」「経営力・内部管理態勢の強化」「人材力・組織力の強化」に重点的に取り組み、協同組織の地域金融機関として、会員・地域住民の皆さま、地方公共団体をはじめとした地域の関係諸機関との連携をさらに深め、地域経済の活性化、持続的な発展に寄与すべく役職員一同全力を挙げて営業活動に努めてまいります。

今後とも地域の事業者の皆さまや個人のお客さまの資金ニーズに積極的に取り組み、顧客サービスの一層の向上を図り、経営の健全性の維持・向上に努めてまいりますので、何卒変わらぬご愛顧とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2019年7月